

心に残った「あのにつこり笑顔」

今のみなさんの夢、してみたい仕事は何ですか。

小さいころ、こんな夢をもっていた子どもたちがいました。

- 「昆虫博士。」
- 「仮面ライダーか、野球の選手。」
- 「もちろん、電車の運転手。」
- 「わたしは、花屋さんかな。」
- 「パパと同じ消防士。」
- 「やさしい、かん護師さん。」
- 「大工さんになって、大きな家を建てるんだ。」



この中の二人の男の子は、大人になった今、ようち園の先生をしています。

この二人が、

『ようち園の先生になろう。なりたい！』

と思ったのは、どうしてでしょうか。

「ぼくが中学二年生のトライ

やる・ウィークでようち園

に行ったとき、ようち園の

子どもたちが、『お兄ちゃん。』

ってたくさん寄ってきて

くれてうれしかった。

とってもかわいかったし、

仕事も楽しかったので、ぼ

くもやってみようと思っ

た。」

「小さいころから、子どもが大すき。子ども会で小さな子のお世話をよくしていた。お世話したときのあのニコツと笑ってくれる笑顔がずっと心に残っていて。」

二人の夢、してみたい仕事を聞いた家族や友だちは、二人にどう言ったのでしょうか。

「ようち園の先生になりたいんだってー。めずらしいね。」

「がんばって、先生になってね。」

「あなたがやってみたければ、ちょう戦したらいいと思うよ。」

二人の夢を聞いた人の中に、

「えー、男のくせに。ようち園の先生なんて女の仕事じゃないの。」

と言った人もいました。



このお兄さんたちは、自分の願いがかない、ようち園で毎日楽しく過すごしています。

どろんこ遊びをしたり、歌ったりおどったり…。

もちろんにっこり笑顔の子どもたちといっしょに。



夢をかなえた先ばいたちから、あなたたちへのメッセージです。

「むねを張はって自分の夢をもとう。できない、無理と思ったら何も始まらない。やってみよう。」

「今だからできる体験を大切にして、自分のやりたいことをめざして、前に進もう。」

「自分の身の回りがあるすてきなことをたくさん見つけて、いっぱい心を動かして夢をつかもう。」

みなさんは、夢を実現げんさせるために何を大切にすればよいでしょうか。

